

株主メモ

事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 / 毎年6月

基準日 | 定時株主総会・期末配当 / 毎年3月31日
| 中間配当 / 毎年9月30日

単元株式数 / 100株

株主名簿管理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 / 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) / 電話 ☎0120-78-2031

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 / 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告先: 当社ホームページ

<http://www.chukyoiyakuhin.co.jp>

上場取引所 / ジャスダック証券取引所 証券コード4558

株主優待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様へ、ご所有株式数に応じ、自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。

ご所有株式数	自社取扱商品
100株以上、300株未満	1,000円相当
300株以上、500株未満	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

■住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場株式配当等の支払いに関する通知書について
租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収書にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご利用いただくことができます。

■株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録しております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



■中京医薬品ホームページアドレス
www.chukyoiyakuhin.co.jp

■中京医薬品・楽天ショップ【イキイキ良品館】
www.rakuten.ne.jp/gold/ikiiki-ryouhin/

The 31st. Business Report

第31期 報告書

平成20年4月1日 ▶ 平成21年3月31日



平成21年3月に南インドを訪問。農村貧困者のための協会の活動に同行し、農村生活の実態をはじめ、地域の医療や教育環境の現状などを直視。現地の人々とふれあいながら私たちにできることを考え、きずなASSISTとしての支援に反映しています。

JASDAQ
証券コード4558

信頼と健康のマーク



株式会社 中京医薬品



株主の皆様へ

「ふれあい業」の基本を守り、知恵と工夫を重ねながら
激動する時代の中で確固たる存在感を示してまいります。

株式会社 中京医薬品
代表取締役社長

山田正行

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、中京医薬品グループの第31期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

こうした状況の中、当社グループの配置販売事業におきましては、幅広い顧客層の需要を掘り起こし、片寄った販売層を是正する取り組みが成果を結びつつあり、期首当初の予想を上回る営業利益、経常利益となりました。この背景には、よりシンプルで風通しのいい組織体制の確立、営業所の統廃合を進めたことによる経営の効率化、さらに営業の質の向上への取り組みなど、この数年、全社一丸となって進めてきた改革が功を奏してきたことがあります。

当期における我が国の経済は、かねてより懸念されていた米国経済の低迷が“リーマン・ショック”と呼ばれる世界的な金融危機にまで発展し、さらに自動車産業など多くの製造業の業績が急速に悪化するに伴い、世界経済の大きな波を受けています。こうした経済のグローバル化は米国、ヨーロッパ、アジア全ての地域の国々の経済成長率をマイナスへと導くとともに、円高基調により国内景気にさらなる影響を及ぼし、これまでにない消費低迷、雇用不安などの難題となって“経済危機”と呼ぶにふさわしい事態となっています。一方で国内企業では小売業を中心に業績を伸ばす企業もあり、知恵と工夫で危機は乗り越えられることを証明しています。

当社グループの商品やサービスは、お客様との会話の中から、よりよい暮らしと健康づくりのお役に立てるものをご提案することが基本です。この「ふれあい業」の精神を大切に、これまでの枠にとらわれることなく、より質の高い商品、より満足していただけるサービスをお届けすることにより広く社会に貢献していけるものと確信しております。

株主の皆様におかれましても、当社グループの基本姿勢と、そこから広がる可能性に共感していただき、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
財務ハイライト	5
トピックス	7
新事業への取り組みと展望	9
株主還元の推移	11
連結財務諸表	13
個別財務諸表	15
株式の状況	17
会社情報	18



常備薬の赤い箱

第31期の概況

- 第31期を振り返って総括すると、
どんな一年でしたでしょうか。

第31期は、平成18年4月より着手しております中期経営計画に基づいた「新機軸での経営基盤を確立した一年」といえるでしょう。第2四半期以降は世界規模の景気低迷期に国内景気も大きな打撃を受ける中、当社グループは「顧客満足の向上」という事業の基本を営業の現場にしっかりと根付かせ、お客様の「健康づくり」「幸福づくり」を通して業績向上に取り組んでまいりました。

当社グループの中核事業であります配置販売事業においては、顧客数の拡大を図る積極的な営業政策とともに、お客様との会話を大切に「ふれあい業」の精神を徹底することにより、営業の質の向上を目指してまいりました。これにより、かねてからの懸案でありました販売層の片寄りは、大きく改善されています。また、営業所の新規出店を2箇所に残し、一層の販売管理費及び一般管理費の削減に努めたことにより、より健全で、時代に即した収益構造の確立にまた一歩近づきました。

こうした取り組みの数々は、創業以来60年間受け

継がれてきた「ふれあい業」の精神を大切にしつつ、求められる商品やサービスをひとつ一つ具現化しながら、変化し続ける時代性に柔軟に対応し、常にお客様との信頼関係を深めるための知恵と工夫、と日々換えることができるでしょう。

- この1年間、企業グループとして
大きな動きはありましたか。

激動の時代においては、経営のスピードが問われると思っています。そのため、営業の現場を的確に把握してお客様の声をいち早く反映するために、またグループの資産を重点事業に効率よく集約させるために、よりシンプルで風通しのいい体制づくりに取り組みました。新事業開発本部を廃止し、ミネラルウォーター宅配事業と生活流通事業を営業統括本部に一元化することにより、管理統括本部との二本部制とし、不採算事業でありました環境事業を廃止するなど抜本的な改革を進めました。主力事業であります配置販売事業では、新規出店を滋賀県近江八幡市と愛媛県新居浜市の2箇所に残し、近い将来の店長候補など人材育成に注力いたしました。また、既存商品の見直しと新商品開発は配置販売事業の生命線ともいえますが、当期も常備薬や生活関連用品など、お客様の声を反映した数多くの新商品を投入いたしました。

- さて、決算の概況はいかがでしょう。

当期の売上高は、連結売上高が78億83百万円（2.8%減）と前期より微減いたしました。連結営業利益は2億86百万円（58.4%増）、連結経常利益は3億2百万円（41.4%増）、連結純利益は1億94百万円（前期は純損失2億72百万円）と大幅に伸長いたしました。これは、前期より継続しております経費削減とともに、社内体制の刷新による利益体質づくりが結実したものといたします。



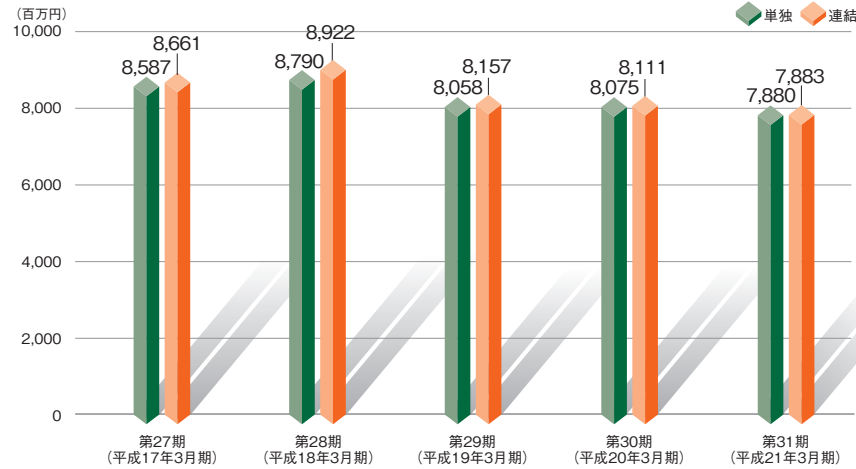
第32期の抱負と見通し

- 今後、注力していく戦略と第32期の
具体的な数値目標についてお聞かせください。

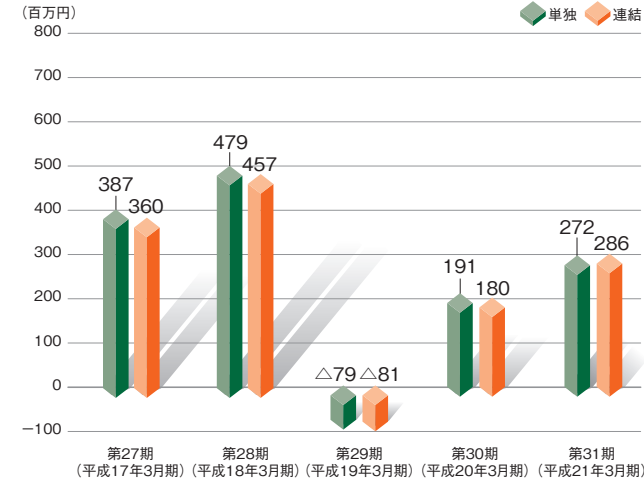
この3年間ほどは、組織改革などの体制強化や人材育成により、時代に即した「ふれあい業」を模索してまいりましたが、当期後半よりその効果が現れてまいりました。第32期は、常に足下を確かめつつも反転攻勢の年度にしたいと考えています。営業所の新規出店を想定しながら、一方で準備を進めてまいりました配置販売事業の幅を広げる新規事業を本年度より試験的にスタートする予定です。尚、32期は連結対象の子会社がなくなりましたので、個別の業績目標として、売上高77億10百万円、営業利益3億17百万円、経常利益3億20百万円、また当期純利益は1億66百万円を見込んでおります。今後も、お客様に喜ばれる商品とサービスを提供し続けることにより顧客満足を向上させ、広く社会から求められる人間集団にしていきたいと存じます。株主の皆様におかれましても、どうぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



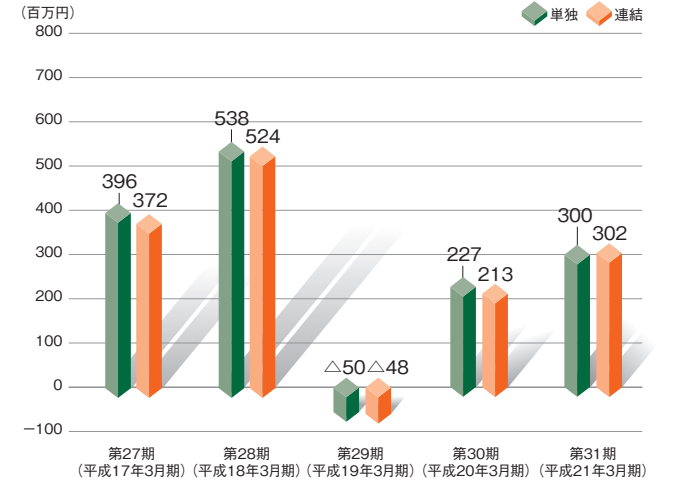
売上高



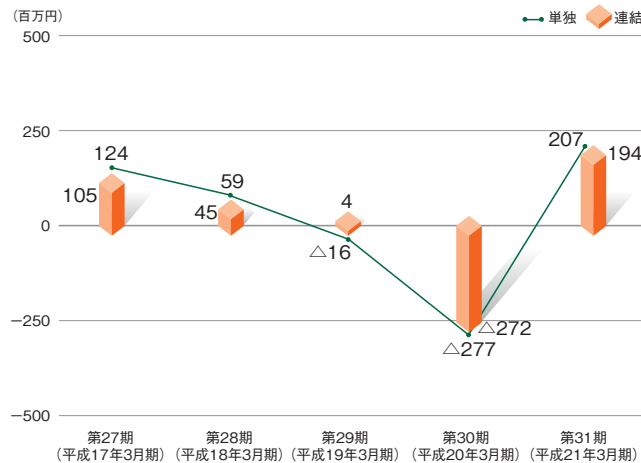
営業利益



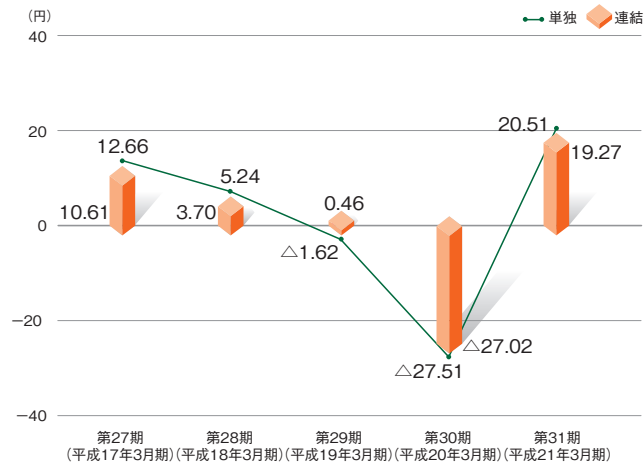
経常利益



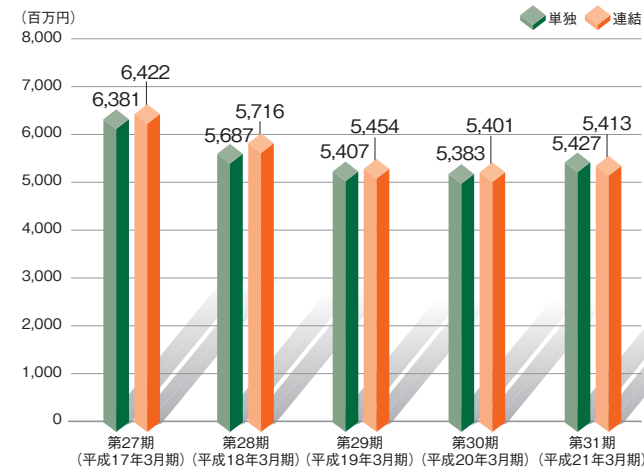
当期純利益



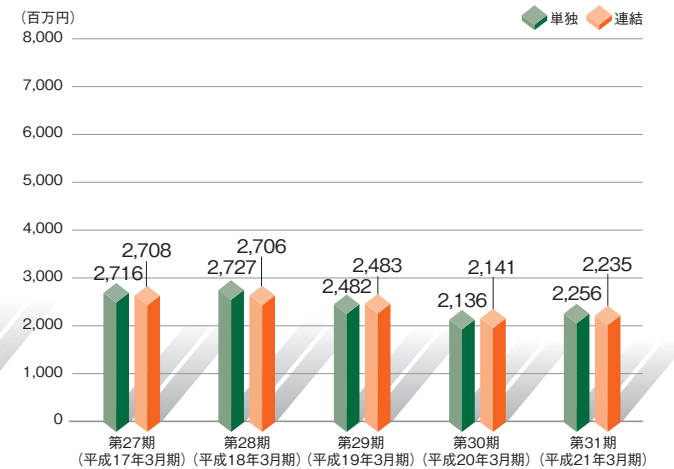
1株当たり当期純利益



総資産額



純資産額





1 「第15回 '08中京医薬品 きずなASSISTコンサート」を開催

「'08中京医薬品きずなASSISTコンサート」が、平成20年12月10日(水)、愛知県芸術劇場コンサートホールで開催されました。当社の国際貢献活動「きずなASSIST」の一環として、毎年12月に開催されておりますこのコンサートも、今回で15回目を数えるに至りました。指揮・小松長生、セントラル愛知交響楽団による管弦楽、恒例となっております市民合唱団による「悠久の第九」をメインイベントに、会場では「きずなASSIST」のパネル写真により1年間の活動報告を行いご来場者の多くの方にご覧頂きました。大きな「きずな」の輪を広げる。私たちは、これからもお客様とともに「きずなASSIST」を通して、社会貢献活動を進めていきたいと考えています。



3 国際貢献活動「きずなASSIST」で 南インドを視察

「世界の子供たちに健康と教育を」をテーマに、当社では「健康づくり、幸福づくり、人づくり」という経営理念を広げた取り組みとして、国際貢献活動「きずなASSIST」を推進しています。お客様にお買い上げ頂いた商品の売上げの一部を財源に、毎年発展途上国でボランティア活動を行うこの活動は、グローバルな視野でお客様とともに取り組む社会貢献活動です。昨年8月のベトナムでの活動に続き、今年3月は南インドへ赴き、カースト、ジェンダー、貧困、衛生・医療などの現状や地域での取り組みを視察しました。現地の人々とのふれあいや貴重な体験を通して私たちにできることを考えています。



2 個人投資家向け会社説明会を開催

平成21年3月5日(木)、大和証券名古屋駅前支店(名古屋市市中村区名駅4-6-23)において「個人投資家向け会社説明会」を開催し、54名の方にご来場頂きました。当日は「中京医薬品の現状と将来の展望」について当社社長が講演を行ったほか、専務による新事業の可能性や、常務による業績の動向及び当期の見通し等の説明を約1時間にわたって行いました。医薬品の配置販売事業を軸とした着実なビジネス展開の内容に、参加された方々は興味深い様子で聞き入って頂きました。また、当社商品の展示も行い、当社への理解をより深めて頂きました。今後も趣向を凝らしたIR活動を積極的に展開していきたいと考えています。



4 「エモアシリーズ」リニューアルして新発売

アンチエイジング需要とともに、女性の“美”への意識はますます高まり、ヘア&ボディケアの市場競争は激しさを増しています。こうしたなか、当社の「エモアシリーズ(シャンプー・コンディショナー・ボディソープ)」は安定的な人気をキープし、多くのお客様に愛用され続けています。この現状を踏まえ、当社ではより満足度の高い商品をお客様にお届けできるよう「エモアシリーズ」のリニューアルに取り組み、今年2月「エモア モイストアップシリーズ」を発売。容器やデザインも一新し、保湿成分として新たにハチミツを加え、今までにないなめらかな仕上がりと呼び声を得ています。お客様の健やかな毎日に向けて、今後も価値ある商品提案を行ってまいります。

エモア モイストアップシリーズ





中京医薬品では新年度(平成22年3月期)より新しい事業を開始します。その事業の内容と展望を、経営企画室室長である専務取締役 山田雄三にインタビューしました。



Q1 新事業の概要と目的についてお聞かせください。

A 中京医薬品は、「トータルライフケア」という大きな戦略のもと、お客様と直接ふれあう配置販売という独自の流通スタイルによって、お客様ひとり一人に喜んでいただける多彩な商品をお届けしています。この中核事業である配置販売事業では、「赤い箱」の常備薬をはじめ、健康食品、食品・飲料水、生活関連商品など、自社開発のPB(プライベートブランド)商品を主体に、お客様の健康づくりをサポートしています。そして、この度、この「トータルライフケア」の一環として、新しくペットケア事業を始めることとなりました。ペットは、飼い主にとっては家族そのもの。ペットにも飼い主にも、どちらにも喜んでいただける商品とサービスを提供していくことが、この新事業の大きな目的です。



専務取締役
経営企画室室長 山田雄三

Q2 市場規模はどれほどを見込んでいるのでしょうか。

A 現在、中京医薬品には33万9千軒のお客様がおられます。全国平均から推察すると、その3分の1が猫や犬などのペットを飼っておられ、既存の流通ルートを活用した場合で、ペットフードをはじめ、関連用品・サービスなどを含めると、約110億円前後の市場規模が見込まれます。常備薬や健康食品は、体調がすぐれないとか、健康に不安がある場合に必要となるものですが、ペットケア事業で扱うペットフードなどは、毎日、確実に消費される商品。毎月4,000円のペットフード代に周辺商品を加えれば7,000円を超えますが、これは配置販売事業ではなかなか難しい数字です。また、このペットケア事業によるアプローチは、営業担当者とお客様との話題が広がるチャ

ンスとなり、既存顧客の拡販、新規顧客の開拓など、配置販売事業との相乗効果もおおいに期待できます。

Q3 この事業にはどのようなスタンスで取り組んでいく予定でしょうか。

A ペットケア事業は、数年で配置販売事業の実績に追いつくような素晴らしいマーケットを持った事業。だからこそ、じっくり時間と手間をかけて育てていくつもりです。まずは日常の営業活動で入念な情報収集を行い、市場規模と傾向を精査し、より正確な販売プランづくりを進めます。これまで、私たちは配置販売事業において「お客様との会話の中で宿題をいただき、それを解決することによってさらに信用を高める」という基本姿勢を大切にしてきました。まさに『ふれあい業の原点』といえるものですが、新事業でもこの基本姿勢は不変であり、「情報から顧客を知る」、「情報をもとにお客様のお役に立とう」という精神を大切にしていきたいと考えています。お客様との会話を通して綿密にリサーチしながら、販売の準備を進めております。



Q4 新事業のさらなる可能性についてお聞かせください。

A 現在、ペット産業の市場規模は1兆1,000億円ともいわれます。もちろん、既存の流通ルートではカバーしきれないので、ネットビジネスにも参入していきたいと考えます。目標は、『日本最大のペット関連サイトの構築』。ペットの誕生、購入からお墓まで、お客様とペットがともに過ごすすべての時間に対応し、ペットの医療やホテルも含めたトータルなペットケアサービスの実現を目指します。その商品やサービスの開発にあたっては、お客様との会話でいただいたご要望やご意見を反映することによって、常に喜んでいただけるものを提供できます。それこそが、お客様との二人三脚によって常備薬をはじめ、生活関連の豊富なPB商品を自社開発している中京医薬品ならではの強みといえるでしょう。このペットケア事業への取り組みは、新しい中京医薬品の顔づくりであり、そのプロセスにおいて新しい企業文化をつくっていくことになるでしょう。

また、私たちはさらに次のステージを見据え、事業提携やビジネスアイデアを広く求めています。既存の事業、この新事業の可能性を広げ、さらに企業と社員の夢を紡ぐチャレンジを続けていきたいと考えています。



株主還元の基本方針

株主の皆様の当社への期待にお応えするため、積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しつつ、株主重視の観点から株主還元施策に取り組んでまいります。配当に関しては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、連結業績、中長期的な成長性、純資産配当率(DOE)等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関する場合は、一株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の一層の向上に努めてまいります。

なお、9月24日発表にて、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするため、中間、期末とも基準日現在の株主様に対し、1株当たり2.5円の法人設立30周年記念配当を実施いたしました。

※1 株式公開記念配当金5円を含む
※2 創業50周年記念配当金5円を含む
※3 株式店頭公開5周年記念配当金2.5円を含む
※4 法人設立30周年記念配当金5.0円を含む

株式分割

平成11年5月	2割分割を実施
平成12年5月	5割分割を実施
平成13年5月	2割分割を実施
平成14年5月	1割分割を実施
平成15年5月	1割分割を実施
平成18年4月	1割分割を実施

配当金の推移(1株当たり)

平成10年3月期 (9月中間期含む)	10円※1
平成11年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成12年3月期 (9月中間期含む)	10円※2
平成13年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成14年3月期 (9月中間期含む)	7.5円※3
平成15年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成16年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成17年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成19年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成20年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成21年3月期 (9月中間期含む)	10円※4

株主優待

平成21年3月の例(3月末現在の株主)

100株以上 (1,000円相当額)	ハイガード立体マスク (5枚入り)×5個
300株以上 (2,000円相当額)	ハイガード立体マスク (5枚入り)×10個
500株以上 (3,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 3パック(18缶入り)
1,000株以上 (5,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5/パック(30缶入り)
5,000株以上 (10,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5/パック(30缶入り) 薬屋さんが処方した美味しいカレー 1箱

平成20年3月の例(3月末現在の株主)

100株以上 (1,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1パック(6缶入り)
300株以上 (2,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 2パック(12缶入り)
500株以上 (3,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 3パック(18缶入り)
1,000株以上 (5,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5/パック(30缶入り)
5,000株以上 (10,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5/パック(30缶入り) 薬屋さんが処方した美味しいカレー 1箱

ハイガード立体マスク



保湿力の高い「三層構造」で、乾燥を防ぎます。さらに、口元の空間が広いので、湿気で口が濡れにくく快適。現在ヒット中の中京医薬品オリジナルマスクです。

薬屋さんが考えた濃縮野菜



厚生労働省が推奨する野菜の1日の目標摂取量「350g」をはるかに上回る、16種類「400g」の野菜をぎゅっと濃縮して使用。野菜ジュース業界の最大手「カゴメ」の技術協力のもと、おいしさはもちろん、医薬品会社ならではの健康と安心を意識した栄養成分、無添加にこだわりました。業界初、1缶にリコピン25mg含有、さらにクルクミン30mg含有。からだ想いの超濃厚野菜ジュースです。

薬屋さんが処方した美味しいカレーシリーズ



■マサラビーフ／30種類にも及ぶカレースパイスをブレンドし、独自のガラムマサラを作りあげました。薬屋さんの目利きで選んだ、漢方薬としても使われるスパイスの絶妙な味わいが自慢です。

■グレイビービーフ／一流シェフのレシピをもとに、漢方薬としても使われる各種スパイスをふんだんに使い、お肉の味を最大限に引き出しました。鉄板でローストした肉汁の旨味がつまった贅沢なカレーです。

会社法における会計について

◎「連結貸借対照表」および「単体貸借対照表」

2006年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

◎「単体損益計算書」

期間中における剰余金の変動は、2006年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

◎「連結株主資本等変動計算書」

2006年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様に帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。

◎「単体株主資本等変動計算書」

2006年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「単体株主資本等変動計算書」が新設されました。これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様に帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

連結貸借対照表

科目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	2,571,569	2,652,024
現金及び預金	870,167	964,144
受取手形及び売掛金	585,973	596,411
棚卸資産	895,650	859,744
その他	234,212	246,279
貸倒引当金	△14,434	△14,555
固定資産	2,841,666	2,749,512
有形固定資産	2,244,264	2,050,088
無形固定資産	28,894	28,378
投資その他の資産	568,507	671,046
資産合計	5,413,236	5,401,537
【負債の部】		
流動負債	1,982,621	1,929,782
固定負債	1,195,117	1,330,077
負債合計	3,177,739	3,259,859
【純資産の部】		
株主資本	2,239,792	2,121,146
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	1,982,863	1,864,129
自己株式	△548,135	△548,047
評価・換算差額等	△4,295	20,531
その他有価証券評価差額金	△405	10,472
為替換算調整勘定	△3,890	10,059
純資産合計	2,235,496	2,141,677
負債及び純資産合計	5,413,236	5,401,537

(単位:千円)

連結損益計算書

科目	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
売上高	7,883,510	8,111,356
売上原価	2,603,344	2,858,137
売上総利益	5,280,166	5,253,218
販売費及び一般管理費	4,993,537	5,072,234
営業利益	286,629	180,984
営業外収益	48,070	61,812
営業外費用	32,643	29,166
経常利益	302,056	213,630
特別利益	100,124	—
特別損失	49,274	400,888
税金等調整前当期純利益	352,905	△187,258
法人税、住民税及び事業税	155,770	142,717
法人税等調整額	2,594	△57,054
当期純利益	194,540	△272,922

(単位:千円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,003	627,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,755	△87,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,434	△316,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,701	△6,037
現金及び現金同等物の増減額	△94,887	216,681
現金及び現金同等物の期首残高	826,003	609,321
現金及び現金同等物の期末残高	731,115	826,003

(単位:千円)

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

科目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日残高	530,950	274,115	1,864,129	△548,047	2,121,146	10,472	10,059	20,531	2,141,677
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△75,748		△75,748				△75,748
当期純利益			194,540		194,540				194,540
自己株式の取得				△238	△238				△238
自己株式の処分			△57	150	92				92
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△10,877	△13,949	△24,826	△24,826
連結会計年度中の変動額合計	—	—	118,734	△88	118,646	△10,877	△13,949	△24,826	93,819
平成21年3月31日残高	530,950	274,115	1,982,863	△548,135	2,239,792	△405	△3,890	△4,295	2,235,496

(単位:千円)

貸借対照表

科目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	2,553,230	2,613,466
固定資産	2,874,060	2,769,781
有形固定資産	2,244,351	2,049,423
無形固定資産	28,894	28,378
投資その他の資産	600,814	691,979
資産合計	5,427,290	5,383,247
【負債の部】		
流動負債	1,975,561	1,916,204
固定負債	1,195,117	1,330,706
負債合計	3,170,679	3,246,911
【純資産の部】		
株主資本	2,257,016	2,125,864
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	2,000,087	1,868,846
自己株式	△548,135	△548,047
評価・換算差額等	△405	10,472
その他有価証券評価差額金	△405	10,472
純資産合計	2,256,611	2,136,336
負債及び純資産合計	5,427,290	5,383,247

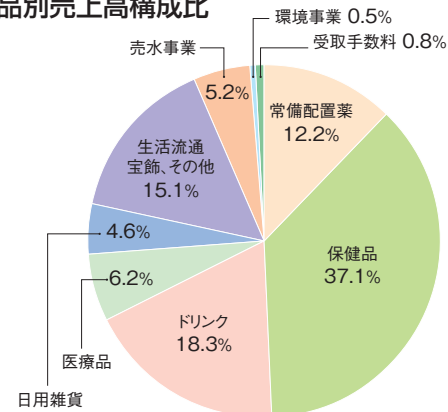
(単位:千円)

損益計算書

科目	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
売上高	7,880,630	8,075,801
売上原価	2,623,598	2,848,373
売上総利益	5,257,031	5,227,428
販売費及び一般管理費	4,984,483	5,035,540
営業利益	272,548	191,887
営業外収益	47,515	59,460
営業外費用	19,758	24,032
経常利益	300,305	227,316
特別利益	103,010	—
特別損失	59,001	420,012
税引前当期純利益	344,313	△192,696
法人税、住民税及び事業税	155,698	142,603
法人税等調整額	△18,431	△57,395
当期純利益	207,046	△277,904

(単位:千円)

商品別売上高構成比



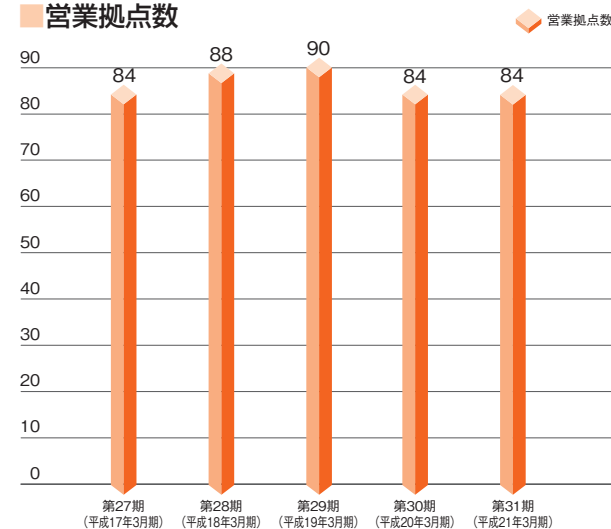
株主資本等変動計算書

当事業年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

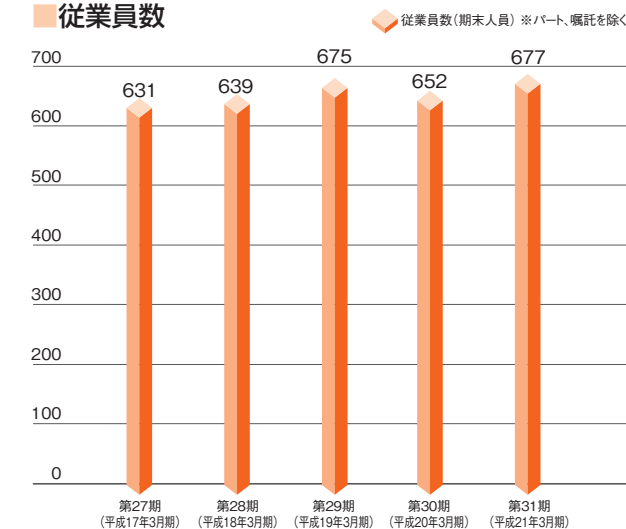
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日残高	530,950	274,115	1,868,846	△548,047	2,125,864	10,472	10,472	2,136,336
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△75,748		△75,748			△75,748
当期純利益			207,046		207,046			207,046
自己株式の取得				△238	△238			△238
自己株式の処分				150	92			92
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△10,877	△10,877	△10,877
事業年度中の変動額合計	—	—	131,240	△88	131,152	△10,877	△10,877	120,274
平成21年3月31日残高	530,950	274,115	2,000,087	△548,135	2,257,016	△405	△405	2,256,611

(単位:千円)

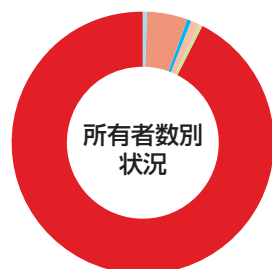
営業拠点数



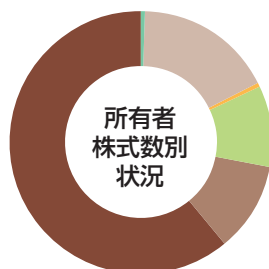
従業員数



- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式の総数 11,385,734株
- 株主数 2,989名

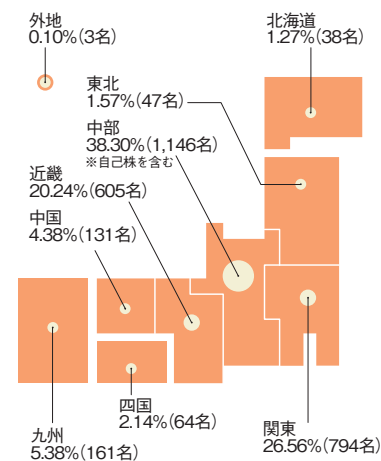


- 個人・その他 96.55% (2,886名)
- 政府・地方公共団体 0.03% (1名)
- 金融機関・証券会社 0.76% (23名)
- その他国内法人 2.47% (74名)
- 外国人 0.13% (4名)
- 自己名義株式 0.03% (1名)



- 個人・その他 63.84% (7,269千株)
- 政府・地方公共団体 0.00% (0.5千株)
- 金融機関・証券会社 8.22% (936千株)
- その他国内法人 16.59% (1,882千株)
- 外国人 0.02% (2千株)
- 自己名義株式 11.29% (1,286千株)

地域別分布状況

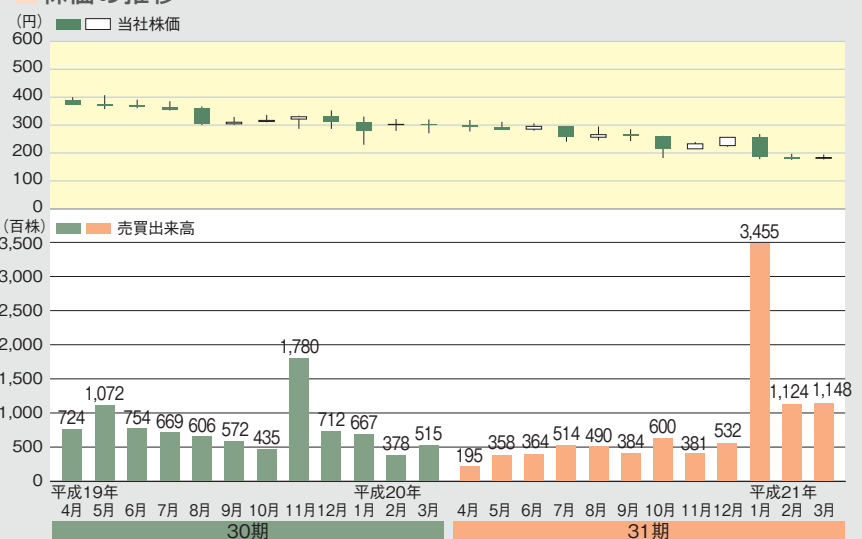


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山田正行	1,345,586	11.81
山田幸男	1,102,686	9.68
有限会社ヤマショー	1,053,985	9.25
山田雄三	760,975	6.68
中京医薬品従業員持株会	264,268	2.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	224,246	1.96
中京医薬品取引先持株会	215,920	1.89
山田重子	163,163	1.43
山田正人	145,697	1.27
明治安田生命保険相互会社	128,247	1.12

(注) 当社は自己株式1,286,384株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株価の推移



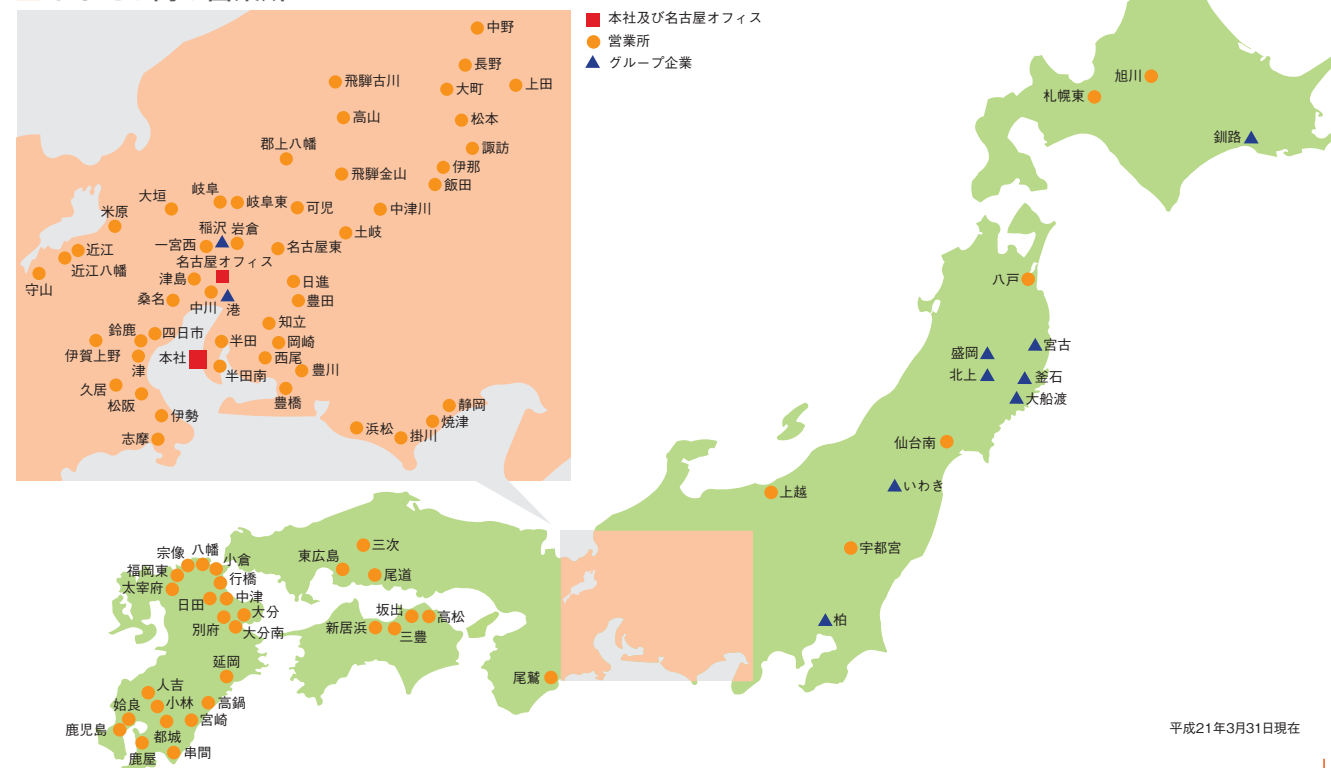
概要 (平成21年3月31日現在)

商号	株式会社中京医薬品
本社所在地	愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1
創業	昭和24年
設立	昭和53年
資本金	5億3,095万円
代表者	代表取締役社長 山田正行
従業員数	773名(嘱託・パート含む)
事業内容	医薬品・医薬部外品・健康食品・清涼飲料水・医療機器・化粧品・日用品・衣料品・生保・損保などの販売

役員 (平成21年6月23日現在)

代表取締役社長	山田正行
専務取締役	山田雄三
専務取締役	辻村誠
常務取締役	松本好博
取締役	金澤光二
取締役	佐土原しづ子
取締役	飯田亨
取締役	山本謙二
常勤監査役	柘植信吾
監査役	長谷川了治
監査役	吉田和永
監査役	田島照彦

あなたの街の営業所



平成21年3月31日現在